

会 議 録

会 議 名	令和8年度 第1回知立市総合公共交通会議
日 時	令和8年5月22日(金) 午前10時00分～11時50分
場 所	知立市役所 3階 302・303会議室
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用状況について 【資料 1-1～1-4】</p> <p>(2) 地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について 【資料2-1～2-2】</p> <p>(3) 令和8年度地域公共交通事業スケジュールについて 【資料 3】</p> <p>(4) 地域公共交通計画策定業務委託業者の決定及び契約締結について 【資料 4】</p> <p>(5) 夏休み期間中の中学生乗車キャンペーンについて 【資料 5】</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 令和7年度歳入歳出決算(案)について 【資料 6-1～6-2】</p> <p>(2) 地域公共交通の課題と課題に対する基本方針(案)について 【資料 7】</p> <p>(3) 地域公共交通確保維持改善事業に係る交通計画の別紙について 【資料 8-1～8-2】</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>
資 料	会議次第、委員名簿・座席表、事前配付会議資料、当日配付資料(ミニバスガイド、愛知県バス会社行動就職説明会、活発でよい議論ができる会議のために)
出 席 者 《 》は 代理出席 者	<p>【委員】 山崎委員((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員部長)</p> <p>小林委員((公社)愛知県バス協会専務理事)</p> <p>潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南市部長)</p> <p>上原委員(名鉄バス(株)運輸本部交通企画官)</p> <p>内藤委員(名古屋鉄道(株)地域連携部交通サービス担当主務)</p> <p>神野委員(愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員(知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>三浦委員(知立青春クラブ連合会会長)</p> <p>三輪委員(知立市区長会(昭和1丁目区長))</p> <p>岩城委員(知立市商工会女性部長)</p> <p>加藤委員(住民代表)</p> <p>山下委員(住民代表)</p> <p>原田委員(中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>高臣《市川》委員(愛知県都市・交通局交通対策課担当課長)</p> <p>服部《山崎》委員(愛知県安城警察署交通課長)</p> <p>立松委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>天谷委員(知立市都市整備部長)</p> <p>佐藤委員(知立市土木課長)</p> <p>【事務局】 都市整備部都市整備課、株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店、 保険健康部長寿介護課</p>
欠 席 者	なし

内容(概要)	
1. 開会	
(司 会)	<p>ただいまより令和8年度第1回知立市総合公共交通会議を開催します。本日の会議出席者は18名、全委員18名の出席をいただいております。知立市総合公共交通会議設置要綱第8条第2項に基づきまして、会議は成立していることを報告させていただきます。</p> <p>それでは、会議に入ります前に資料のご確認をお願いいたします。本日配付させていただきました「会議次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、「活発で良い議論ができる会議のために」という冊子、「バス会社合同就職説明会」のチラシ、事前にお送りしております「令和8年度第1回知立市総合公共交通会議資料」でございます。皆様、お手元にごございますか。</p> <p>なお、本日は会議終了後に議事録を作成するため、録音をさせていただいております。あらかじめご了承ください。それでは、はじめに石川市長よりご挨拶申し上げます。</p>
2. あいさつ	
(市 長)	<p>皆様、おはようございます。市長の石川智子でございます。本日は令和8年度第1回知立市総合公共交通会議の開催にあたりまして、皆様大変お忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市の交通行政に対しまして温かいご理解とご協力をいただいておりますこと、重ねて御礼を申し上げます。皆様、任期2年目ということでございますので、昨年から引き続き本年も大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>先日、ゴールデンウィーク期間中の中部国際空港における国際線及び国内線の利用者数が、前年に比べ14ポイント上昇したという発表がございました。また、新幹線につきましても、1日で49万3千人の方が利用されまして、1日当たりの利用者数が過去最高を記録するなど、全国的にお出かけ需要の高まりが見られております。こうした賑わいは、本市も例外ではなく、5月の2日と3日、2日間にわたり開催されました知立まつりの本祭りにおきましては、市内外から非常に多くの方にお越しをいただきました。2日、3日にお越しになられた方もいらっしゃるかもしれませんが、3日は知立神社の境内に山車を5台並べ、5町による山車文楽・からくりが実演されました。夕方に雨模様になってきてしまって、時間を早めて宮出をしたという、少し残念な状況にはなってしまったのですが、ただ、そこは5町の皆さんが、準備をずっと重ねてこられたからこそ、事故なく無事に山車の奉納が済んだということで、知立市といたしましても安心していただいております。こういった催事、祭礼等、観光面でも、やはり交通インフラの重要性がますます高まっているなどということを感じているところでございます。</p> <p>こういった状況の中で、本市の公共交通につきましては、平成30年度に策定いたしました知立市地域公共交通網形成計画が、今年度をもって計画期間の満了をむかえます。令和9年度からの新たな計画の策定にあたりましては、昨年度までに実施いたしました基礎調査等を通じて得られた課題等を整理いたしまして、これからの時代に即した持続可能な公共交通のあり方について、ご検討をお願いしたいと思っております。本日の会議では、地域公共交通の課題と課題に対応する基本方針案をはじめ、3つの協議事項についてご協議いただく予定としております。委員の皆様におかれましては、引き続き、豊富な知識とご経験を活かしていただきまして、幅広い視点から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。それでは、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
(司 会)	<p>市長はここで退席をさせていただきます。先ほど市長の挨拶の中にもありましたが、知立市総合公共交通会議の委員の任期は2年となっております。現在1年が経過したところでございます。今回、人事異動等で新たに委員になられた方もいますが、自己紹介は省略させていただきます。委員名簿に代えさせていただきますので、ご了承いただきたいと思っております。議事に先駆けまして、お</p>

	手元に配付いたしました「活発で良い議論ができる会議のために。」の冊子について、愛知運輸支局の原田様よりご説明をいただきます。
(支 局)	(冊子の説明)
(司 会)	事務局は市の機構改革により、課の名称がまちづくり課から都市整備課に変更となりました。今年度は、私、池田と隣におります課長補佐の加藤、担当の松本で対応させていただきますので、一年間よろしくお願ひいたします。本日の会議では、報告事項5件、協議事項3件のご審議をお願ひいたします。市民の皆様にとってより便利な公共交通になりますよう、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆様方にはご協力いただきますようお願いいたします。それではここからの議事進行は議長の山崎副会長に交代させていただきます。山崎副会長、よろしくお願ひいたします。

3.報告事項	
(議 長)	当会議の議長、副会長を仰せつかっております、公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。今日は報告事項がたくさんありまして、協議事項では計画確定に向けて様々な意見をいただきたいと思います。先ほど運輸支局の原田委員から、「活発で良い議論ができる会議のために。」のご説明をいただきました。私は他にも関わっている自治体がありますが、知立市は市民の委員の方々が活発に発言をしていると感じております。本日も建設的な意見、議論ができると思っておりますので、よろしくお願ひいたします。それではお手元の次第に沿って進めてまいります。まずは3、報告事項(1)「ミニバスの利用状況について」、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	【資料 1-1～1-4に基づき説明】
(議 長)	ただいまご説明いただきましたミニバスの利用状況に関しまして、ご意見・ご質問等あればお願ひいたします。順調に利用者が増えているということで、コロナ禍に一気にどこのバスも利用者が3割、4割ぐらまで減ってしまいましたが、戻ってきているということでございます。ひとつ確認ですけど、アピタは結構利用者が増えていますが、5コースはアピタの利用が減っている。原因について簡単に説明をお願いします。
(事務局)	資料 1-4 ですが、5コースの下から6番目のアピタを見ていただくと、ピンク色が令和7年度で6,512人、緑色が令和6年度で7,121人ということで、大きく減少していることが確認いただけるかと思うのですが、その反面、例えば4コースも下から見ていただくと、アピタバス停が出てくるかと思えます。同様に1から3コースにつきましても、下から見ていただくと、アピタバス停があり、いずれも利用者数が伸びております。これらの情報を照らし合わせますと、今まで5コースのアピタで乗車し、知立駅方面に向かわれていた方が、買い物等を終えたタイミングで乗車できる便を使って知立駅方面まで向かわれていることが推察できます。ですので、一概に5コースが減ったからといって、不安になるような状況ではなくて、利用者がダイヤを理解して他のコースを使われているということだと考えています。
(議 長)	アピタは5路線全て通っていて、利用者の方々はいろんな路線を使うようになってきたと、うまく使っていると感じております。それでは報告事項(2)「地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について」ということで、今現在この計画に基づいて事業が進められておりますが、計画をきちんと評価してPDCAを回すということになります。そのために、数値目標に対して実績がどうなっているかということを確認しております。資料の2-1から2-2を事務局から説明をお願いします。
(事務局)	【資料2-1～2-2に基づき説明】
(議 長)	ただいまご説明いただきました地域公共交通網形成計画の数値目標を確認したことについて、ご意見・ご質問等あればお願ひいたします。いかがでしょうか。だいたい数値は伸びている状況になって

いるということです。空港アクセスバスは、民間事業者が運営していますので、市としてなかなか難しいところがありますが、こういう数字が出てくると少し驚いてしまうということはあるかもしれません。他によろしいでしょうか。それでは報告事項(3)、「令和8年度地域公共交通事業スケジュールについて」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料3に基づき説明】

(議長) ただいま令和8年度地域公共交通事業スケジュールについて説明いただきました。ご意見・ご質問等あればお願いいたします。計画策定を今進めているということで、後ほどの協議事項で皆さんから活発な意見をいただきたいと思います。また、今年度は4回の会議を予定しているとのことですのでお願いいたします。それでは報告事項(4)「地公共交通計画策定業務委託業者の決定及び契約締結について」ということで、資料4の説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づき説明】

(議長) ご意見・ご質問等あればお願いいたします。事務局から説明がありましたように、昨年度、基礎調査を受注された国際開発コンサルタンツが引き続き計画策定も受注ということで、しっかり頑張っていたきたいと思います。それでは報告事項の最後、(5)「夏休み期間中の中学生乗車キャンペーンについて」ということで、資料5の説明をお願いします。

(委員) 【資料5に基づき説明】

(議長) 「夏休み期間中の中学校乗車キャンペーン」につきまして、ご意見・ご質問あればお願いいたします。

(委員) 資料と同じものを配布されていますか。

(事務局) はい。白黒のものを配布する予定です。

(委員) 三つの中学校が別の場所にあるので、モデルケースもそれに合わせたものにするとうりが増えるのではないかと思います。今年は間に合わないかもしれませんが、それぞれの地域に住んでる方向けのモデルケースを考えると良いと思いました。

(議長) 事務局いかがでしょうか。

(事務局) 非常に良い意見だと思います。夏休みになったら中学生は図書館に勉強しに行くものだとか、ウォーターパレスへ泳ぎに行くものだと先入観はありました。委員おっしゃられるとおり、確かに中学校が違えば生活圏も違いますので、その中学校の周辺で行きやすい施設や行き先を選定したモデルコースを作ると良いと思いました。次年度以降の作成時に参考としたいと思います。

(議長) 委員のご意見は、目的地もですが、中学校によって乗られる場所が違うということだと思います。目的地はみんなウォーターパレスでも良いのかもしれませんが、どこから乗るのかを各中学校で作り分けるということです。子どもたちがどういう利用をしているか、よく行くところを聞いてみるのもいいかもしれませんね。自分自身も豊田市の業務で、豊田の県立高校での説明会の時に配るバス利用促進の資料で各学校専用の資料を作りました。学校ごとにこんなルートで通学できますっていう風に。こういうキャンペーンではないのですが、その資料をいつまでも手元に持っていてほしいということで、クリアファイルにバスマップとどういう風に通学できるかというモデルルートを印刷して配布しました。少し手間は掛かりますが、中学校ごとに資料を作成できると良いと思います。ちなみに中学校はいくつになりますか。

(事務局) 3中学校になります。

(議長) 3校であればそこまで手間は掛かりませんね。他にいかがでしょうか。

- (委員) 中学生向けの乗車キャンペーンということですが、高校生のキャンペーンは無いのでしょうか。
- (事務局) 高校生の方は、特に3コースが顕著なのですけれども、通学でも使っていただいております、貴重な運賃収入の一部であります。高校生の方まで無料にすると運賃収入に影響してしまうため厳しいという思いがあります。
- (委員) 今後、検討していただくと助かります。
- (議長) 高校生に対して何かキャンペーン、運賃無料などの運賃施策ではなくて、別の施策を考えてもらえる面白いかもしれません。今後検討していただきたいと思います。他の方よろしいでしょうか。中学生のこのキャンペーンですが、何年目でしたか。
- (事務局) 13年目です。
- (議長) 13年ということは、当時の中学生がもう25、26歳になっている、30代近くになっている。このキャンペーンを経験した人たちのその後、バスに対する抵抗感の有無や現在のバス利用の状況を調べるため、市民アンケートで聞いてもらったのですが、掴み切れなかったところがあるかと思えます。このキャンペーンを経験していても、今の生活でバスに乗るかどうか、生活の様式次第でありますし、また、乗る目的があるかどうかという話なので。ただ、バスに対する抵抗感はなく、簡単に気楽に乗れるということになっていれば嬉しく思います。またどこかで調査できると良いかなと考えています。それではここから4、協議事項に入ります。協議事項(1)「令和7年度歳入歳出決算(案)について」ということで、資料6-1から6-2を事務局から説明をお願いします。

4.協議事項

- (事務局) 【資料6-1～6-2に基づき説明】
- (議長) 事務局から説明がありました監査報告に関しまして、佐藤監事からご報告をお願いいたします。
- (監事) 監事の知立市土木課長の佐藤です。令和7年度決算監査の結果について報告いたします。知立市総合公共交通会議設置要綱第16条第1項の規定に基づきまして、令和8年4月28日に当会議の業務の執行状況及び財産状況の監査を実施いたしました結果、いずれも適正であることを確認いたしました。よろしくをお願いいたします。
- (議長) ただいまご報告いただきました、令和7年度の歳入歳出決算(案)に関しまして、何かご意見・ご質問あればお願いいたします。
- (委員) 令和7年度、地域公共交通調査事業費国庫補助金が交付されない理由を教えてください。
- (事務局) 補助金については、新規に交通計画を策定する交通会議や、他に利便増進実施計画を策定する交通会議に対する補助に力を入れると聞いており、当会議は改定にあたるので採択が難しく、このような結果になっております。
- (委員) 今年度は交付されますか。
- (事務局) 昨年度の基礎調査は補助対象になるのですが、今年度の計画策定は補助対象ではないので、交通会議単独の負担となります。
- (委員) わかりました。
- (議長) 運輸支局から補足があればお願いいたします。
- (委員) 事務局から説明があったとおりですが、令和7年度の査定方針として、新規策定も同様ですが、改定する場合はよりデータを活用してアップデートをする計画に対して重点配分することになりました。当会議の取組みは良かったのですが、あまりに要望件数が多くて、対象外という結果となってしまいましたので、ご理解いただければと思います。

(議 長) この決算(案)はこの交通会議の予算、歳入歳出に関するもので、ミニバスの運行自体は市の予算で運行しており、地域間をまたぐ隣の市に乗り入れる路線、地域間幹線に対する国庫補助はいただいています。全く国から補助をもらっていないわけではないのでご安心ください。なお、協議事項についてはご審議の上、採決が必要なものとなっております。公共交通に関する会議では、原則、全会一致が望ましいと考えていまして、「異議なし」の声だけだと異議のある人は黙っているため、きちんと賛成していることを明確に示していただくために、挙手制とさせていただきます。それでは、ただいまの議題となっております協議事項(1)「令和7年度歳入歳出決算(案)について」に関しまして、賛成いただける方、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

(議 長) 全員の方にご承認いただきましたので、事務局で手続きを進めていただきたいと思います。では続きまして、協議事項(2)「地域公共交通の課題と課題に対する基本方針(案)について」、資料7を事務局から説明をお願いします。

(事務局) 【資料7に基づき説明】

(議 長) 昨年度までの調査結果を整理して計画の策定を進めていただいておりますが、ご意見・ご質問あればお願いいたします。特に今日は課題と課題に対する基本方針部分にご意見いただいて、皆さんに同意いただきたいということです。いろいろな調査結果を整理していただいて、課題抽出の33ページ、課題抽出の要素として8つのことを踏まえて4つの課題があったということです。関係する人々の移動を支えるネットワークの維持、新しいまちづくりに合わせたバス路線の最適化、全世代に受けた親しみやすさ・使いやすさのさらなる向上、公共交通に対する多面的な関係者による連携・協働。それぞれの課題がどの調査に基づいて抽出されてきたのかということです。

(委 員) 4年前に知立市に引越してきて、車を運転しないご夫婦の方から、「秋田病院でバスに乗る時に、どっちのバス停で待っていれば良いのか迷った」と言われました。同じ名前のバス停が二つあるので、1番2番などと使い分けているのか、進行方向によって使い分けているのか、わからないので教えていただきたいです。

(議 長) より利便性を高めるために丁寧な案内が必要じゃないかという意見だと思いますが、今の直接的な話に対してお答えいただきたいと思いますがいかがですか。

(事務局) 「秋田病院」というバス停は二つあり、どちらで乗れば良いのか分かりにくい状況です。他の方からも聞かれたことがあります。実際にその方が、どこに向かうのか、どのコースに乗るのかということ聞いて、「こちらのバス停です」と案内をしています。今後、例えば「秋田病院1」「秋田病院2」とか、「秋田病院 北」「秋田病院 南」などバス停名の変更も案の一つとして考えたいと思います。

(委 員) ミニバスに乗った時に、途中のバス停に待っている人がいないので「通過します」と言われ素通りしました。その時に間違っただけで待っていたら素通りされてしまうのかと思いました。その対策は早くしていただきたいと思いました。

(議 長) そういう細かいところで、「ここを少し良くした方がいいな」というものがいろいろあるかと思っておりますので、きちんと吸い上げていって対応していただけると良いと思います。まさにこの計画の中の36ページの課題3で、全世代に向けた親しみやすく・使いやすさのさらなる向上というところに当てはまるのかなと思います。乗車ルールというか乗り方です。「このバス停で待ってください。」「こちら方面に行くのはこのバス停です。」という案内など、具体的な施策として出てくるものだと思いますので、そういった施策をきちんと計画で分かりやすい乗車環境の構築のような感じで、メニューに上がってくるのかなと思います。

(委 員) 利用実態の利用者年齢で、利用者全体では75歳以上の割合が高いです。3コースの方は40代か

らも高くなっているのですけれども、他のコースで見ると、やはり18歳未満ですとか39歳までの利用者数が大幅に少ないのですが、どうして利用者が少ないのか理由は分かっているのでしょうか。

(事務局) 18歳から39歳の方というと、通勤と通学、子育て世代を多く含む利用者層になります。年齢や生活スタイル、地域性もありますが、自家用車の利用をし始め、自動車が移動の中心となる年齢層であるため、どうしても他の年代に比べれば、利用が減少してしまうのは仕方ないと考えています。しかしながら、こういった年齢層のミニバス認知度を上げて、利用してもらうきっかけとするため、例えばちりゅう子どもフェスティバルや、直近ではアピタ知立店での乗り物イベントにも参加させていただいて、子育て世代にもPRさせてもらっています。そういった地道な啓発をしていくことが大切だと思っております。計画素案の中にもありますけれども、課題の3に「公共交通の利用を自分ごととして捉えるきっかけを作ることが大切です」と記載させていただいておりますので、イベント参加だけではなく、効果的な施策があれば、今年度新しい交通計画に施策として位置づけることを検討していきますので、もし委員さんからもこういった啓発がいいんじゃないかという施策があれば、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

(議長) 他にご意見はございますか。

(委員) 運転免許証を自主返納した方から、これからの季節は暑くなるのでバス停で待つ人用に屋根を設置してもらえないかという意見がありました。屋根を設置できるバス停とできないバス停があると思いますが、現状で屋根等作る計画はありますか。

(事務局) シェルターやベンチは歩道の幅に対し、有効幅員が取れないと設置できない法律的な規定があります。ミニバスのバス停付近は歩道の幅が狭い箇所が多く、有効幅員が十分取れないため、設置したくても、ほとんどのバス停で設置できないという状況です。

(議長) 他にご意見はございますか。

(委員) 26ページから31ページくらいまで、各種最終評価のデータが揃っていると思うのですが、26ページの最終評価では、赤字で書いてある最終評価の下が2024と記載されていますが、28ページだと最終評価が2025となっており、評価の数値が混在しているのはなぜかということが一点と、例えばですけど、26ページの最終評価のところの市内鉄道4駅の最終評価の結果が18,494人、日当たりになっているのですが、27ページの左の上から2番目のグラフで見ると、2024年が18,663人になっており、数字が違う箇所があります。他のページにも数字が違う箇所があるため、どうして違うのか教えていただきたいと思います。

(事務局) 委員のご発言の通り、数値が違っている箇所が多いため、きちんと精査をさせていただき、正しい表記に修正させていただきます。

(議長) ご指摘ありがとうございます。事務局の方で修正をお願いします。

(委員) ここは全部25年の結果で揃えるっていうことでよかったですか。

(議長) そのとおりです。

(議長) 25年のデータで揃えるということで、事務局の方で精査してくださるようお願いいたします。

(委員) 課題を見せてもらったのですが、私が思っているところと大体同じだと思っています。ここから今後のあるべき姿を掲げて、どう実現していくっていうところを決めていくと思うのですが、こうなってほしいと思っているところを述べたいと思います。課題1の移動を支える公共交通ネットワークの維持で、今、東刈谷と野田新町の刈谷市、三河八橋の豊田市に乗り入れしていますが、知立から新城城だったらすぐ行けるのですが、ららぽーとや三河安城駅はなかなか行きにくい。三河安城駅付近にはアリーナもできる予定なので、知立から簡単に行けるようにできるといいと思います。今5路線中3路線で国庫補助をもらっているということですので、全路線乗り入れて全部補助でもらえたりす

るのであれば、そういう方針にしても良いと思います。刈谷市にもデンソー池田工場の跡地に新たに商業施設ができるそうですが、バスが走っていない区間もあるので、接続できるようなネットワークを作ってもらえると良いと思いました。課題2の新しいまちづくりに合わせたバス路線の最適化で、今後、知立駅周辺、環状線の整備がされていくと思いますが、バス路線の最適化と道路の整備を一緒に考えると良いと思っています。岐阜県の自動運転バスの実証実験に乗車してみたのですが、障害物がなければまっすぐ走れますが、路上駐車等があると運転士が制御していたので、これから道路を整備するのであれば、運転士の人材確保も難しいと聞くので、環状線は自動運転を前提として整備するような計画を立ててもらえると良いと思いました。課題3の世代に向けた親しみやすさというところで、バスの遅れは利用者にとって困りごとであり、遅れると本当に来るのか不安になってしまふ、その後の予定が狂ってしまうところもあり、バスを使いづらい理由になっているのではと思っています。スマートフォンなどを使えば、バスが今どこにいるというのが、バスロケーションシステムで分かるようになっていっていると思いますが、利用者の多くが高齢者であることもあって、見る事が出来ない方も居ると思います。ゴールデンウィークに地元の長崎に帰省した際に、長崎バスのバス停を見たら、32インチのディスプレイに時刻表と、あとどれくらいで到着するという情報が表示されていました。こういった表示がされていると利用者としても利用しやすくなると思いました。今後計画を策定する際には、実際に使う側の視点で計画を立ててもらえると良いと思っています。

(事務局) 安城市内に行きづらいという話は、他の市民の方からも伺っています。特に三河安城駅に行きたいという要望が多いのですが、知立から三河安城駅まではほとんど安城市内を運行することになるため、どの程度までだったら許容されるのか議論したこともあります。要望が多いことは把握していますので、何かしらの方策を考えていければと思っています。あと、環状線の整備について、先進地ですと自動運転バスのガイドビーコンを道路に入れるといったやり方もあると聞いています。すでに決められた計画の中で進められている事業でありますので、自動運転を見越したという視点はありませんでした。こちらは担当に整備状況等を確認したいと思っています。デジタルサイネージを利用した時刻表については、近隣では刈谷市が力を入れて設置しています。私たちも検討のため、イニシャルコストとランニングコストにどのくらいかかっているのかと聞きに行ったりもしています。将来的にどこに設置するかということもありますが、検討していきたいと考えています。

(議長) そうですね。この後、計画で課題に対する基本方針が立って、それぞれの課題に対する施策が出てくるわけです。現計画の事業が32ページにありまして、こういう形で施策を整理していくということで良いですか。

(事務局) はい。32ページが現計画における実施内容となっております。右に行くほど細かい項目となっております。基本方針を実現するために行う施策の内容が、実施内容に細かく記載されています。新しい計画を策定するにあたって同様に、基本方針に対して、課題に対応した施策を実施して、基本方針を叶えていく、この施策の実施内容を埋めていく作業を今年度行っていくことになります。

(議長) 今いただいた意見は実際の事業を整理していく上で参考にしながら、やれることは計画に載せ、やれそうにないことは無理に計画に載せていく必要はないと思います。ただし、やれないことはなぜやれないのかということの説明できるようにしておくが良いと思います。今後、具体的な施策の案が出てくるとしますのでお願いします。他にいかがでしょうか。

(委員) 名鉄電車や名鉄バスは通勤・通学に多く利用されていますが、ミニバスは知立駅に行くまでに時間がかかるという課題があります。若年層の利用を伸ばすため、特急路線のような、知立駅まで最短距離で行ける路線を作ることはできないでしょうか。

(議長) 路線の検討、目的の考え方ですが、現段階で事務局どうですか。

- (事務局) 路線の検討ですが、通勤・通学等に特化した特急的な路線というのは、利用者を制限しかねないという心配があります。ミニバスだけで実現しようとするのは難しいので他の交通モードと合わせて検討していただくのが良いと思います。
- (委員) ぜひ検討をお願いします。
- (議長) 他にはよろしいでしょうか。
- (委員) 今の意見と関連しているのかなと思うのですが、新たに路線を作るのは本当に大変だと思います。しかし、午前中に1便、午後に1便などであれば、逆向きの運行もできるのではないかなと思うのですが、他の市でやっているところはありますか。
- (議長) 需要が多い路線ですと、逆向きで走ったりしています。便数を思い切って減らして、両回りにしたというような事例もありますし、それで利用者が増えたケースもあれば、減ったケースもあります。市民ニーズとして逆向きの要望があるのでしょうか。
- (事務局) はい。よく逆向きの要望があるのは1コースと2コースですが、特に1コースは道路環境的に普通乗用車同士ですれ違いが難しい箇所が多いため、逆向きを作るとなると、ミニバス同士がすれ違うようなシーンも生まれてきますが、道幅が狭くすれ違うこと自体が出来ません。よって、別コースとして復路を設けるというのは難しいと思います。委員のご提案のとおり、一便は順方向、その次の便は反対方向で運行している市町村もありますので、検討することも一つ手かと思いますが、その分、順方向で運行する便が減少することになりますので、実際やってみないとわからないところというのはあるかと思います。
- (議長) 具体的な施策につながるような意見が出てきていますので、きちんと今後検討していただきたいと思っています。いかがですか。何かございましたら。
- (委員) 14ページの利用実態ですが、1コースの利用者の約半分以上が75歳以上ということで、大変高齢者に利用されているということですが、目的と内容が分かれば教えてもらいたいです。
- (事務局) 1コースの利用者の年齢層に偏りはありますが、利用用途は3コースを除いた他のコースと同様で買い物が一番多くなっていて、次が通勤となっています。
- (委員) 75歳以上ですと無料パスがありますが、75歳以上の利用者はほとんど無料パスを使っているということでしょうか。
- (事務局) 市内在住の75歳以上の方が使われています。年2回種別調査でどのように料金を支払っているか調査しており、最新の結果ですと、全コースの平均で高齢者パスを使われて乗車されてる方は31.4%なので、約3割の方が75歳以上の方となっております。なお、1コースでは一日目で51.7%、2日目で59.7%ということで半数以上が75歳以上の利用ということになっています。
- (委員) 75歳以上でも料金を払っているということなのではないでしょうか。
- (事務局) 市内在住の方で高齢パスを使われている方は無料ですが、使われてない方は有料です。
- (委員) 私たち高齢者は免許を返納して足がないので、買い物また病院に通うための利用が多いと思います。ミニバスは買い物先、病院も網羅されていますので、今後も利用したいと思います。
- (議長) 区長会から今回初めて参加されていますが、何か意見や感想はありますか。
- (委員) 例えば逆向きの課題など、すぐに解決するのは難しいかもしれませんが、どのような経路にすればより良くなるのかという点については、これからも検討して行って欲しい。予算についてもこの会議でどうできないのかもしれないが、予算をつけてもらって1便でもバスの本数を増やすとか、いろいろ工夫ができると良いと思います。
- (議長) 今日は計画の基本的な方針と目標・課題を整理してご審議いただくこととなります。ご意見いただいた具体的な事業に関しては、いただいた意見を検討して、事業に反映させて、整理をしていくという

ことになるかと思えます。他の委員さんからは概ねこんなところではないかという意見もありましたが、「これでは不足している」、「こういうことが必要だ」等ありましたらお願いいたします。計画のこれまでの実績等、データの部分は修正していただきますが、基本的な方針、それから目標に関しまして、これで良いと賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

(議 長) 全会一致でご賛同いただきましたので、この基本方針で進めていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。最後になりますが、協議事項(3)「地域公共交通確保維持改善事業に係る交通計画の別紙について」、資料 8-1 から 8-2 を事務局から説明をお願いします。

(事務局) 【資料 8-1、8-2 に基づき説明】

(議 長) ただいまご説明いただいた、地域公共交通確保維持改善事業に係る交通計画の別紙について、ご意見・ご質問あればお願いいたします。

(支 局) 昨年10月の令和7年度地域間幹線系統補助の事業評価では、4コースだけが目標未達成となっていたと思えます。その際に、「4コースは刈谷市と生活圏が近いので、刈谷市と協力して利用促進施策を検討する」という説明があったと思うのですが、このページに書いてあるモデルコースの作成などは刈谷市と連携していくことができるという理解で良いですか。

(事務局) 先日、近隣市町の公共交通担当者会議がありました。その際、刈谷市の担当者に「4コースの利用が伸び悩んでいるので一緒に何か考えてほしい」とお話ししたところです。モデルコースの作成という形が一番相応しいのかどうかもありますが、何か取り組みができるといいと思っております。

(議 長) まだ別紙に記載できるような施策はなく、担当者同士で話し合っているという段階であるとのこと。先ほど安城市の話もありましたので、近隣市と連携して取り組んでいただきたいと思えます。周辺の市町で知立市に乗り入れているのは、豊田市の高岡地域バスだけですか。安城市のあんくるバスが知立市に乗り入れるということは考えられますか。

(事務局) 豊田市の高岡地域バスのみです。安城市のあんくるバスとは東刈谷駅で接続していますが、現状で知立駅に乗り入れる等の話はありません。

(議 長) 知立市は交通の要所で、すごく良い場所にあるのですが、目的地にはなりにくいのかもしいです。市長の話でもあったように、観光資源を十分に活かしていくことで繋げていくことができると思えます。よろしいでしょうか。それでは協議事項(3)「地域公共交通確保維持改善事業に係る交通計画の別紙について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

(議 長) 全員の方に賛成いただきましたので、事務局で手続きを進めていただきたいと思えます。私の進行はここまでですので、事務局に進行をお返しします。皆さん、ご協力ありがとうございました。

5. その他

(司 会) 多くのご審議ありがとうございました。それでは最後の 5 その他に入ります。愛知県バス協会の小林様からバス会社合同就職説明会の説明をお願いします。

(バス協会) 【バス会社合同就職説明会の説明】

(司 会) その他、委員の皆様から、この場を借りて何かご意見・ご質問をしたいということがありましたら、お願いしたいですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは事務局より一点ご報告をさせていただきます。

(事務局) 【連絡事項について説明】

(司 会) それでは、本日の知立市総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。本日は、お忙しい中ありがとうございました。

6. 閉会